

平成 22 年 7 月 6 日

金融商品専門委員会（金融負債に関する公正価値オプション）
ディスカッション・ポイント

- 5 月に IASB は、金融負債の分類及び測定に関して、公開草案「金融負債に関する公正価値オプション」を公表した。コメント期限は 7 月 16 日である。
- 金融商品専門委員会では、第 66 回専門委員会（6 月 7 日）及び第 67 回専門委員会（6 月 21 日）に、本件に関する検討を行った。
- 本日の企業会計基準委員会では、コメント案について、以下のポイントを中心に審議願います。
 - 基本的なスタンスとして、公正価値オプションに関する規定を除き、金融負債の分類及び測定に関する現行規定（IAS 第 39 号）を維持する、公正価値オプションに指定された金融負債の公正価値変動のうち信用リスクの変動に起因する部分をその他の包括利益(OCI)に表示する(PL に会計上のミスマッチが生じ得る場合も含む)という IASB の提案について、リサイクリングを前提に支持することで良いか。
 - 公正価値オプションに指定された金融負債の公正価値変動のうち信用リスクの変動に起因する部分をその他の包括利益に表示方法について、信用リスク変動部分を OCI 表示する 1 段階アプローチよりも、先ず FV 全体を PL 表示し、次に信用リスク変動部分のみを PL から控除して OCI 表示する 2 段階アプローチ(公開草案における提案内容)を支持することで良いか。
 - コメント案の冒頭に以下の点を記載することで良いか。
 - 現行の IAS 第 39 号の取扱いを出発点とし、現在のヘッジ会計の取扱いを前提
 - 複合金融商品の区分処理については、IFRS 第 9 号に示されたような「密接に関連する」との要件についての問題を緩和するアプローチの検討が必要
 - 削除する方向で検討されている原価測定 of 例外については、IFRS 第 9 号公開草案に対するコメントと同様に、公表市場がなく、信頼性を以て測定できない資本性金融商品に対する公正価値測定は、意思決定上有用な情報を提供しない

以上